

武田 米国自主トレ出発 東浜に続き摂津に“挑戦状”

2014年01月05日（最終更新 2014年01月05日 06時00分）



今年は「俺がやる」。自主トレのため渡米する笠原（左）と武田

写真を見る

昨季4勝に終わった屈辱からの巻き返しに燃える武田翔太投手（20）が4日、成田空港から自主トレの地、米国ロサンゼルスへ出発した。直前まで3日間、個人契約したサイコセラピストの河野昭典氏（55）の「スポーツ催眠」トレーニングを受けるなど、新年から意欲満々だ。

河野氏によると「スポーツ催眠」とは人間の無意識部分にアプローチし、心と体を緩めて本来の潜在能力を引き出すもの。武田は「手応えは大きい。ぶれない心を培える」と早くも成果を感じ取っている。具体的な目標設定も掲げ、「最低でも2桁勝利」と誓った。

また開幕投手への意気込みについて、摂津に“挑戦状”をたたきつけた東浜同様に「そこを目指している気持ちはある」と力を込めた。

「他人に勝つというよりも妥協せずに自分に勝つ。そうすればおのずと結果はついてくる」。海の向こうで一回り大きくなって帰ってくる。

（大窪正一）